

昨年のお阪・関西万博で話題になった「人間洗濯機」。もともとは展示物でしたが、なんとアメリカ企業5社に納入する予定だとか。この洗濯機の原型は1970年の大阪万博で披露された、カプセルに座るだけで体を洗ってくれる未来型「全自動お風呂」。昭和が夢見た未来が令和になってまさかの商談成立とは驚きですね。

知っとこ!「税」のマメ知識

今月のマメ知識:【ビール、発泡酒、第三のビールの税率が一本化】

わが国の酒税は、酒類の製造方法や原料によって細かく区分されています。発泡性酒類についても「ビール」「発泡酒」、第三のビールと呼ばれる「その他の発泡性酒類」に分類されています。これらの区分は、原料である麦芽の使用割合や副原料、製法などで決まるため、その仕組みは非常に複雑です。こうした複雑な酒税体系の簡素化や税負担格差の是正を目的として、2020年10月から段階的にビールの税額が引き下げられる一方、発泡酒と第三のビールは引き上げられてきました。そして最終ステージとなる2026年10月には、これらの税率が一本化され、350ミリリットル缶換算で一律54.25円の酒税となる予定です。これまで各メーカーは税率差を踏まえた商品開発を行ってきましたが、税率の一本化によって今後は価格面だけでなく、味や品質、商品の個性などが、より重視される可能性があります。今後の市場動向にも注目していきたいところです。



意外に知らない暦の話

来る9月9日は「救急の日」。救急医療・業務に対する理解と認識を深め、関係者の意識向上を図ることを目指して、1982年に定められました。ところで救急といえば「救急車」を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。急な体調不良や事故の際には心強い存在ですが、でもいざお願いするとなると「すごく痛いけど、このくらいの症状で119番してもいい?」「不適切利用が社会問題にもなっているから、何か言われるんじゃないかしら?」なんて悩んでしまうかも……。そんなときに頼りになるのが全国41地域で実施されている「救急安心センター事業」。「病院へ行く?救急車を呼ぶ?」と迷ったら「#7119」へ電話をすると、医師・看護師・救急救命士からアドバイスを受けられます。病気やケガは、いつやってくるかわかりません。日頃の備えとして、記念日を機に「#7119」の実施エリアや利用方法などを、総務省消防庁のウェブサイト等でぜひご確認ください。

気軽にLet's英会話

今月のキーワード:【once-in-a-lifetime】

8月12日に欧州で日食が発生しますが、皆既食で時間が長いアイスランドとスペインでは観光客が殺到する見込みだとか。「一生に一度の出来事(once-in-a-lifetime event)」だと思えば、混んでいても見に行きたいのでしょうか。“Don't miss this once-in-a-lifetime opportunity!”で「この千載一遇のチャンスを逃すな!」です。アイスランドでの次の皆既食は2196年6月26日ですが、前回の発生が67年前だったスペインでは2027年8月2日に再び皆既食が見られるそうです。

卵を割ったときに殻のカケラが料理に入ってしまったら、半分に割れた殻でカケラをすくってみましょう。卵の殻同士は引き寄せ合うようにくっつく性質があるので、小さなカケラも意外なほどすんなりとすくえます。指で取るより簡単でおすすめです。



今月の商売のヒント：【数字の裏側を見る力】

経営者は数字に助けられます。売り上げ、利益、前年対比。数字は会社の状態を教えてくれる大切な道具です。けれど、数字にだまされることもあります。良く見える数字ほど、その裏側は見えにくくなるものです。

ある会社に長く売れ続けている商品がありました。毎月の数字を見ても安定していて、経営会議ではいつも「これは残そう」という結論になります。ところがある日、現場の社員がぼつりと言いました。「あの商品、売れるんですけど、説明と対応にものすごく時間がかかっています」。調べてみると、売り上げは立っているものの、問い合わせ、修正対応、クレーム処理に多くの時間が使われていました。数字の上では優等生に見えていた商品が、実は現場の体力を少しずつ削っていたのです。

目立つ数字だけで決めないことは判断力のひとつでしょう。売り上げがある。利益が出ている。長く続いている。そうした事実はもちろん大切です。しかし、そこにどれだけの手間が隠れているか。誰の負担で成り立っているか。未来の信用を前借りしていないか。そこまで見なければ判断したことになりません。経営者は「結果の数字」を見ることに慣れていますが、会社の本当の状態は「数字になる前」のところに出るものです。社員の小さなため息、顧客対応の手戻り、会議では語られない疲労感。そこに目を向けられるかどうかで判断の質は変わります。怖いのは、決して間違えることではありません。うまくいっているように見えるものを疑えなくなることです。会社を守る判断は、ときに「売れているもの」を見直す勇気から始まるのだと思います。



今月のいろいろ「掲示板」

【スタッフブログ】

秋田市の企業とアメリカの企業が、秋田市に AI 向けデータセンターを建設する予定と発表がありました。整備費は2兆円規模となり、日本最大級のAIデータセンターになるそうです。

建設、稼働にあたり、冷却ファンによる騒音問題、排熱・膨大な量の電気と冷却水使用など、公害対策の問題、自然環境の問題など課題も多くありますが、大規模な企業誘致は地域振興、経済効果への期待も大きく、地域活性化の一つのモデルケースとなることに期待したいものです。

杉山会計事務所

〒731-0122

広島市安佐南区中筋 2-5-25-201

電話：082-877-4218

FAX：082-877-4219

<http://www.sugiyama-kaikei.jp>

mail：office@sugiyama-kaikei.jp

